

平成 29 年 8 月 31 日

鳥取市教育委員会
教育長 尾室 高志 様

逢坂の教育を考える会
会長 田中 洋二



逢坂小学校のあり方について（要望）

少子化の進行に伴い小規模化が進んでいる逢坂小学校は、平成 25 年に鳥取市校区審議会において、「早急に対策を検討すべき学校」と位置づけられました。

これを受けて逢坂地区では、逢坂むらづくり協議会が中心となり、平成 26 年 11 月に「逢坂の教育を考える会」を立ち上げ、逢坂地区の子どもたちのより良い教育環境を創るため、逢坂小学校の今後のあり方について検討を進めてまいりました。

当会では、小規模校の課題への対応策や、学校統合した場合のメリット、デメリットなどについて 19 回にわたり協議を重ねるとともに、保護者会組織との意見交換会や住民座談会を開催し、本年 1 月には、小学 5 年生以上の住民を対象にした「逢坂小学校のあり方に関するアンケート」を実施しました。

アンケートは約 80% の回収率で、「統合すべき」または、「統合はやむをえない」という回答が過半数を占めました。

このアンケート結果をもとに住民説明会を開催し、そこで出された意見も踏まえ議論を重ねた結果、「気高町内の小学校と統合すべき」との結論に至りました。

つきましては、逢坂地区として下記のとおり要望いたしますので、よろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。

記

1. 気高町内の小学校と新設統合すること。
2. 統合に際して、児童が新しい環境に適応できるための対策を講ずること。
3. 子どもたちの安全な通学手段が確保されるよう対策を講ずること。
4. 地域の郷土愛を育む教育を継続すること。